

御幸が原小だより

～令和6年の締めくくり～



発行 宇都宮市立御幸が原小学校

校長 稲澤 正明

栃木県宇都宮市御幸ヶ原町 53-2

TEL 028-663-0358

e-mail mihara-e@ueis.ed.jp



学校 HP QRコード

朝晩の冷え込みが一層厳しくなり、朝の校庭も所々霜で白くなっています。そのような中でも、みはらっ子たちは、頬や鼻を赤らめ、白い息を吐きながら気持ちのよい挨拶と共に元気に登校しています。

年末の風物詩となっている今年の世相を表す「漢字一文字」が清水寺で発表されました。2024年の漢字は「金」でした。

私にとって、今年の御幸が原小を象徴する漢字一文字は「躍」です。音：ヤク、訓：おどる と読みますが、意味は「はねあがる。勢いよく動き回る。胸がわくわくする。」だそうです。この漢字は、みはらっ子たちの学習・運動・放課後の各種活動の様子から感じたものです。学習では、時には我慢をしながら、やるべきことに粘り強く取り組める児童が多くなってきたように感じています。代表的なものとしては、漢字オリンピックに対する取組です。漢字の習得は努力に比例します。担任の先生からは、テストの回数を重ねるたびに伸びている児童がたくさんいると聞いています。今年度初めての取組でしたが、今後メダリストがどんどん増えて欲しいと願っています。運動では、運動委員会によるドッジボール大会や先日行われた長縄大会、そして運動会など行事に熱く向き合うみはらっ子のよさがとても表れていた1年でした。本番の時の集中力、そして喜びやくやしさ等の感情表現も真剣に取り組むからこそのものであり、とても嬉しく思っています。これからも、同じ目標に向かって団結する姿を期待したいです。また、放課後の各種活動では、暑いときも寒いときも元気に校庭を走り回る姿を校長室から、また夜遅くまで体育館で練習に励む姿を帰りがけに、毎日のように見ることができました。たくさんの外あそびや目標に向かって練習に取り組むことで、これからも強い体と心を育てて欲しいと思っています。

人の成長にとっての幼少期の大切さを示す言葉は「三つ子の魂百までも、鉄は熱いうちに打て、矯（た）めるなら若木のうち」など昔からのことわざにもたくさんありますが、子供たちには自分もっている可能性をこれからも伸ばし広げていって欲しいと願いつつ、子供たちのかわいらしい顔を見るたびに、学校が担う環境づくりの重責を強く感じています。

保護者の方々のほとんどは、日々仕事等時間に追われ、お忙しい毎日をお過ごしのことと思います。そんな中でも、冬休みには子どもと目を合わせながら、たくさんの楽しい会話を弾ませていただき、その折には学校の話も交えながら、今後の学校生活の励みとなるような話をたくさんしてあげて欲しいと思っています。

授業参観、PTA 活動、学校支援ボランティア活動等、今年一年大変お世話になりました。

よい年をお迎えください。

お弁当の日

「おにぎりの日」に続いて第二弾は「お弁当の日」です。ご協力をいただきありがとうございました。



レンコン食べたよ

2年生が中庭の池で栽培したレンコンを給食でいただきました。ご指導いただいた印南さん、毎年ありがとうございます。



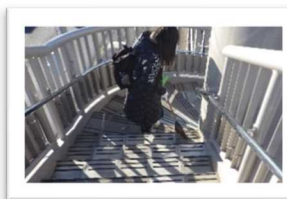
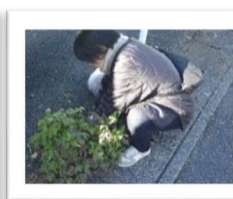
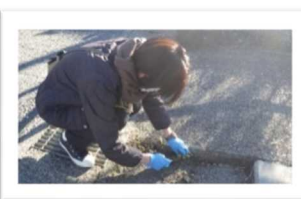
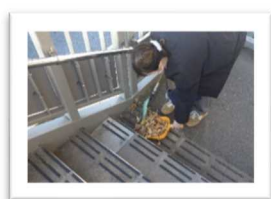
みはら伝統行事「長縄大会」

冒頭でも触れたように、本番での子供たちの集中力と感情表現は素晴らしいものがあり、見ている教員側が何度も感激させられました。結果に関しては、上手くできたこともできなかったことも、すべてが学びだと思っています。計画を立ててくれた運動委員の皆さんありがとうございました。



P T A生活安全部による歩道橋清掃

7日（土）のオープンスクールの日にP T A生活安全部の方々が実施してくださいました。ご存じのように、交通量の多い道路に面している本校は、登下校の際に歩道橋の利用が欠かせません。おかげさまで、今後も子供たちが安全に気持ちよく利用することができます。ありがとうございました。



音楽集会（1年生）

かわいい司会者の挨拶と流れ星から始まった1年生による音楽集会。「きらきら星」の合奏では、鍵盤ハーモニカの他に大太鼓や鉄琴・トライアングル・鈴も加わり、音の重なりがとてもきれいでした。「赤鼻のトナカイ」では、みはらサンタとトナカイも登場。かわいらしい歌声とマッチして、クリスマスが待ち遠しくなりました。



健康委員会によるクイズラリー

健康委員会の皆さんが、自分たちで考えた健康に関する問題をスタンプラリー形式で出題してくれました。この機会に健康に関する興味関心を高め、健康な体作りに努めて欲しいと思っています。

（1）1回の食事にかむ回数のクイズです。

今から約700年前の鎌倉時代のかむ回数は2654回でした。現在の食事のかむ回数は何回でしょう？

- ① 1000回 ② 3600回 ③ 620回

（2）インフルエンザについてのクイズです。感染してから症状が出るまでの期間は？

- ① 急激 ② ゆっくり

（3）インフルエンザが発見された年は何年でしょう？

- ① 1957年 ② 1934年 ③ 1846年

（4）コロナウイルスの「コロナ」にはどんな意味があるでしょう？

- ① 小さい ② 王冠 ③ 太陽

（5）手洗いで洗い残しの多いところはどこでしょう？

- ① つめの間 ② 手の平 ③ 手の甲 答えは前頁下

